

かけはし

学校だより
令和6年度 7月号
高松市立弦打小学校



地域で弦打っ子を育てるコミュニティ・スクール

校長 池田 茂樹

6月19日（水）に学習参観を実施いたしました。本年度は、自動車での来校をご遠慮いただくようお願いしていますが、徒歩や自転車で多くの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの授業中や休み時間の様子もご覧いただくことができました。誠にありがとうございました。今後も、「とらえ・つながり・ひらく弦打っ子」の育成に取り組んでまいりたいと思います。何とぞご理解・ご協力のほど、よろしく願いたします。

さて、同じ日に、第1回学校運営協議会を開きました。学校運営協議会は、保護者や地域の方々が学校運営に参画し、社会全体でよりよい学校づくりを推進していくために、学校運営やそれに必要な支援に関して協議する組織です。年間3回の学校運営協議会を通して、弦打小学校の子どもたちのために、地域に根差した教育活動を展開していきます。

学校運営協議会を設置した学校を「コミュニティ・スクール」といいます。弦打の地域で育ち、弦打を愛する子どもたちの成長を支え、自信をもって未来を切り拓く弦打っ子を地域と学校で育てていきたいと思います。



エピソード3 「みんなで力を合わせて頑張った田植え体験」 3年生

毎年、3年生は地域の方のご協力をいただき、総合的な学習の時間に稲作体験をすることができています。本年度も6月18日（火）に田植えを行いました。

昔ながらの、定規に沿って手植えをする方法で、少しずつ心を込めて植えていきました。

この体験を通して、私たちの食生活を支える食料生産への尊敬や感謝の気持ちが湧いてきたようです。

